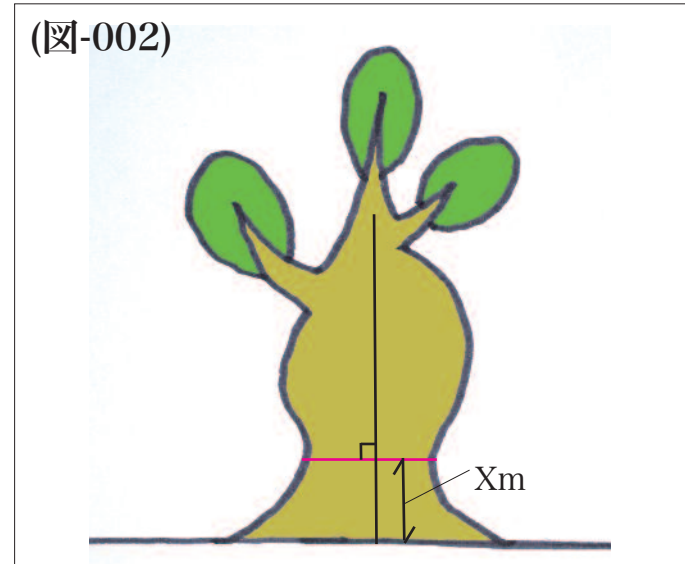
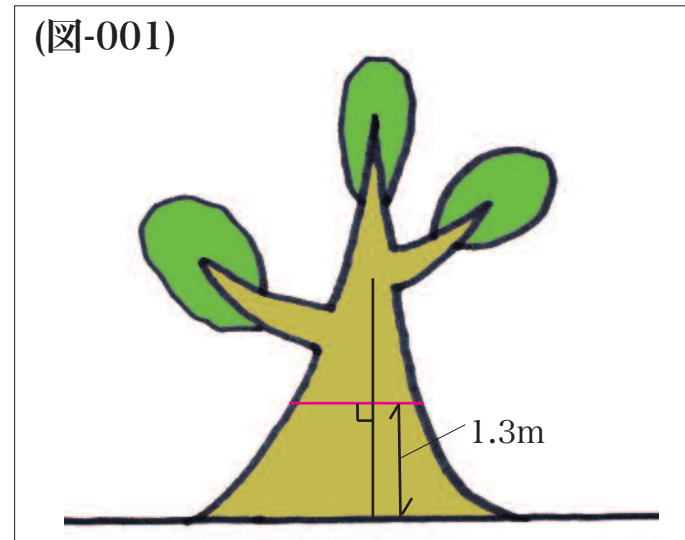


M式幹周測定法 (国際基準を考える)

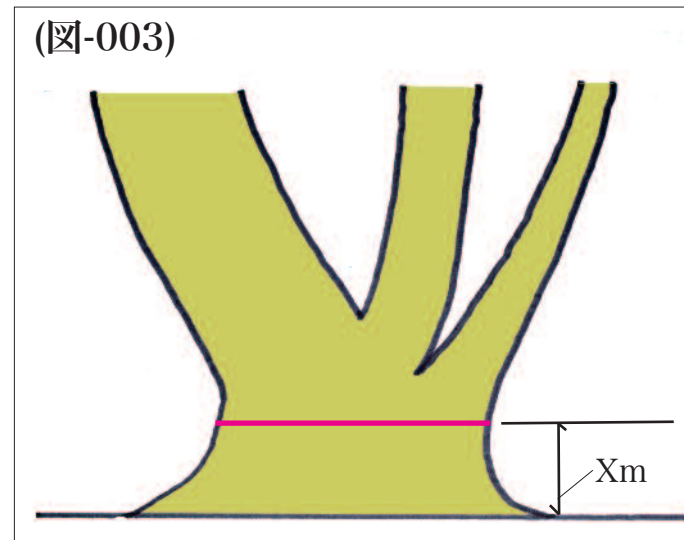
■平坦地に直立する樹木の測定方法

樹木の中心線に直角に測定する(図-001)。コブや凹凸を避けて測定し、最もくびれている位置を測定し、その位置(Xm)を記録する。(図-002)



■分岐幹の測定方法

地上 1.3m 以下で分岐する分岐幹の測定方法は、根元の最もくびれた主幹を測定し、測定位置 X を記録する。



記録方法

幹周 M○m(分岐 Xm 2016)

※分岐と記載する事で、単幹樹と区別する。

※分岐幹各々を測定して記録する方法は、分岐幹が多くなると現実的ではなく、測定数字も判断に苦慮する結果でしかない。記録方法に「分岐」と記載する事によって、単幹樹と区別できるようにした。

記録方法

(図-001)では

幹周 M○m(1.3m 2016)

(図-002)では

幹周 M○m(Xm 2016)

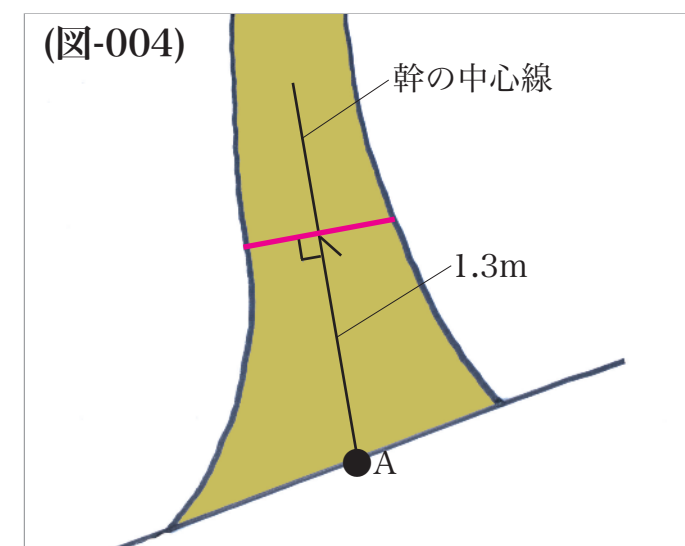
※測定した位置と測定年を記録する。

■傾斜地に立つ幹の測定方法

幹の中心線より 1.3m 地点を、中心線に直角に測定する。

中心線の根元位置 A は、目測で容易に特定できる。

反対側斜面に極端に高低差がある場合は、双方の幹周を測定し、平均を出す。

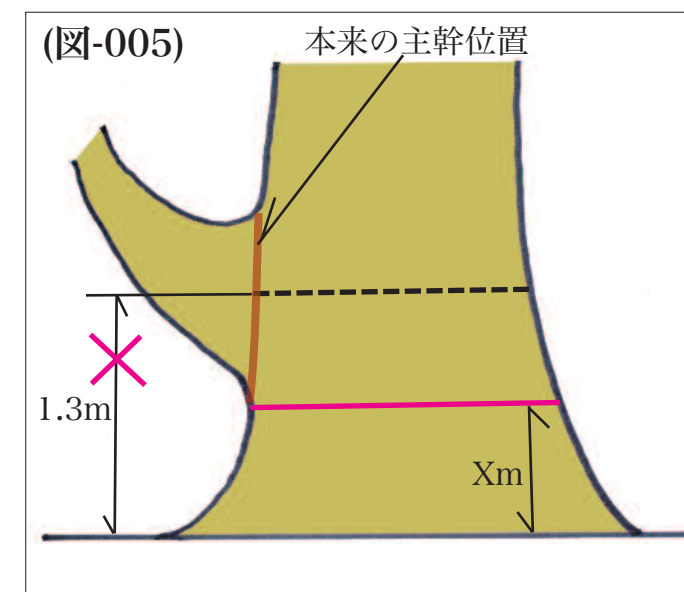


記録方法

幹周 M○m(1.3m 2016)

■地上 1.3m 以下に分岐幹がある場合の幹周測定方法。

地上 1.3m 地点の分岐幹を含む周囲をむりやり測定しない。分岐幹以下の最もくびれた部分を測定し、その位置(Xm)を記録する。



記録方法

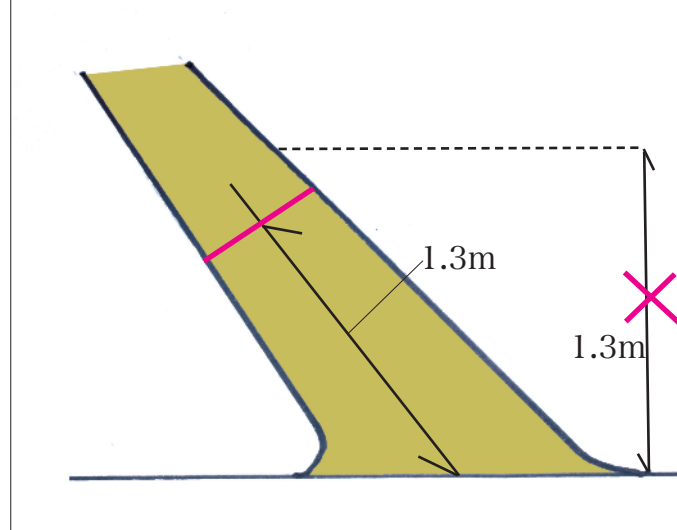
幹周 M○m(Xm 2016)

※主幹本来の位置は黒点線部で、これに最も近い幹周を測定する。

■水平な地面に傾斜する樹木の幹周測定方法。

幹の中心線から 1.3m 地点を、幹に直角に測定する。垂直距離ではない。

(図-006)



記録方法

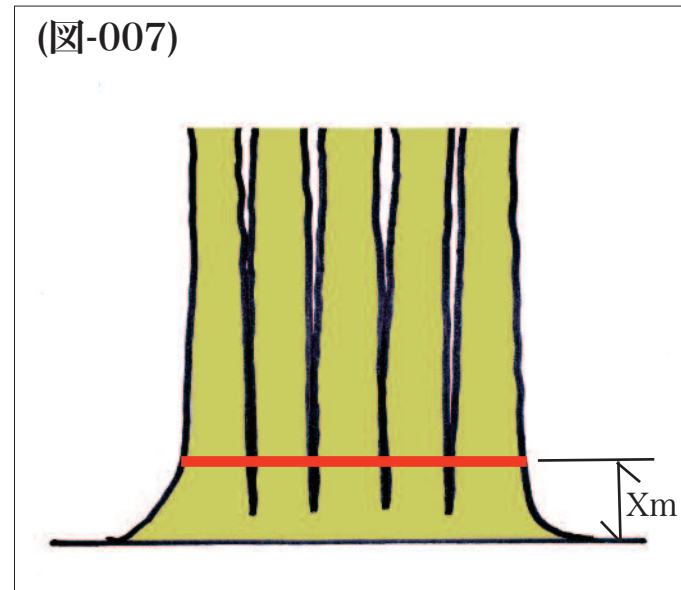
幹周 M○m(1.3m 2016)

■株立ち樹形の測定方法

叢生する樹木では、これまで単幹樹として取扱われてきたが、同一視はできない。M式では、幹周ではなく「株周(かぶしゅう)」という新たな表現を導入する事によって、区別する。

根元近くの最もくびれた部分を測定しその位置 X を記録する。

(図-007)



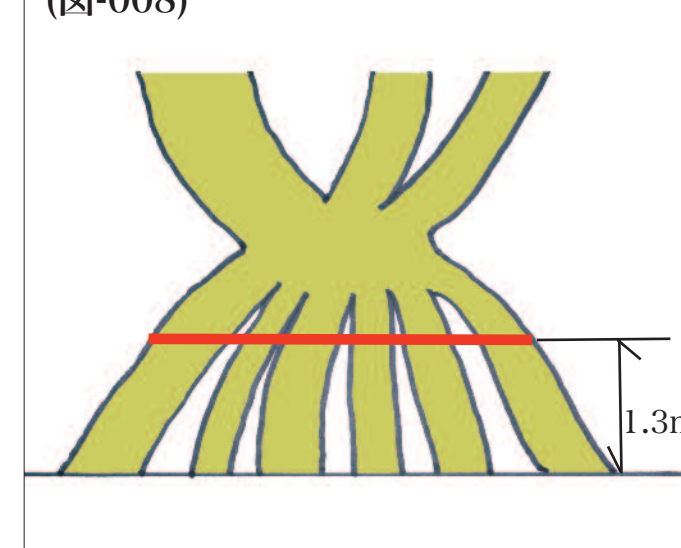
記録方法

株周 M○m(Xm 2016)

■根上り樹形の測定方法

根上り樹形は、株立ち樹形と同じ「株周」という表現を導入し、単幹樹と区別する。

(図-008)



記録方法

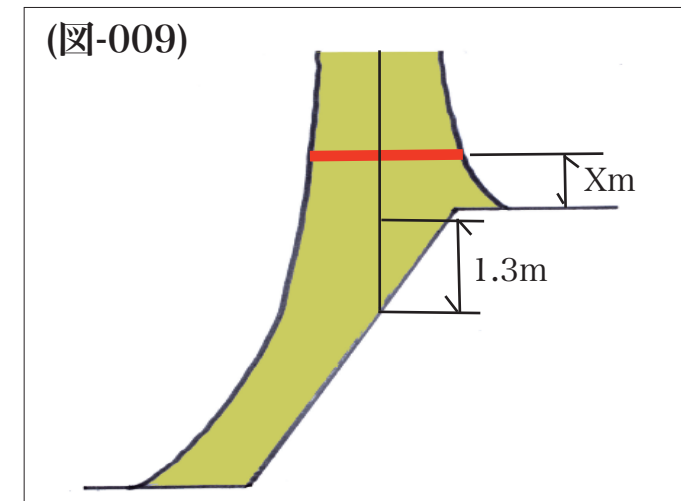
株周 M○m(1.3m 2016)

■急斜面に立つの樹木の測定法

急斜面に立ち、中心線 1.3m 地点が、斜面位置になる樹木の測定方法は、山側の最も幹周を表現すると思われる部分の幹を道具を使って測定し、測定位置を記録する。

道具が使用できない場合は、同じ部分の手前半分の幹周を測定し、2倍する。

(図-009)



記録方法

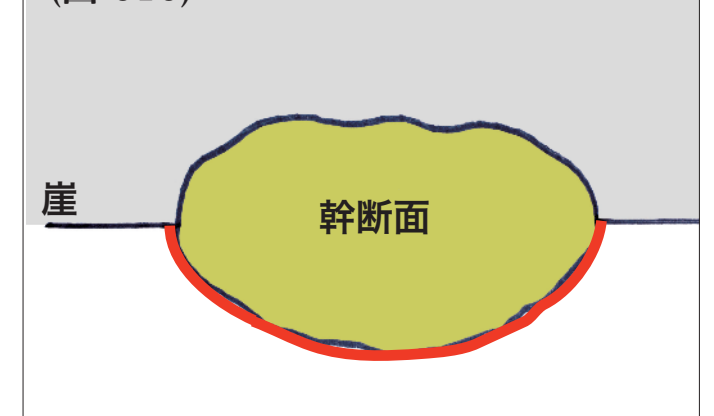
幹周 M○m(上部 Xm 2016)



▲高枝切り鉋等の道具を使って、巻尺を回す。

※道具が使用できない場合

(図-010)



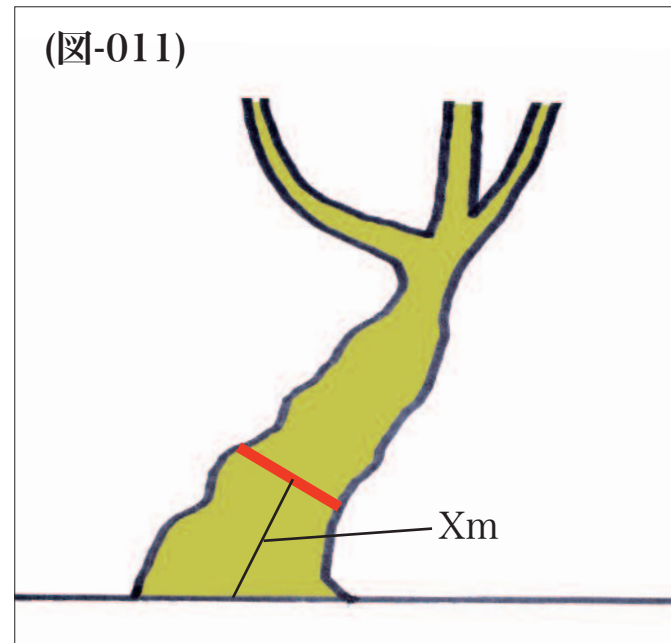
崖等に立つ樹木の断面は、崖に沿って伸びる傾向にあり、直径を測定して 3.14 倍すると、大きな数字が出る欠点がある。幹の左右の中心を目測で決定し、巻尺で測定し、2倍する方が誤差が少ない。測定位置を記録する。

記録方法

幹周 M○m(上部 Xm 2016)

■高樹齢・低木の樹木の測定方法

幹の大きさを最も表現している部分を測定し、位置を記録する。



記録方法

幹周 $M \circ m(Xm 2016)$

■幹周測定 of 道具と方法

幹周を巻尺で測定する場合、二人でと考えるのが一般的であるが、M式では一人で行なえる。測定スタート位置が決定すると、その位置に巻尺の0位置を置き、ピンで留めれば、一人で巻尺を回す事ができる(図解-001)。



ピンで巻尺を留める

巻尺を回す位置が高い場合は、高枝切り鋏等を利用して、巻尺をセットする(図解-002)。



左手でポールを持ち、右手に巻尺を持ち、ポールと巻尺を張りながら幹に沿って回す。ある程度の修練が必要。



巻尺を回した後、正確に想定位置にきているかを目視し、修正する。



測定位置にひこばえ等がある場合、セットした巻尺を、針を布に通す要領で幹とひこばえの間を通す(図解-005)。

巨木用語

- 幹周(みきしゅう)・幹の周囲の略語 ※幹周りでも可
- 株周(かぶしゅう)・株の周囲の略語 ※株周りでも可
- 根周(ねしゅう)・根元周囲の略語 ※根周りでも可
- 分岐幹・地上 1.3m までに分岐する幹
- 単幹・地上 1.3m までに分岐しない幹
- 株立ち・根元で分岐する幹